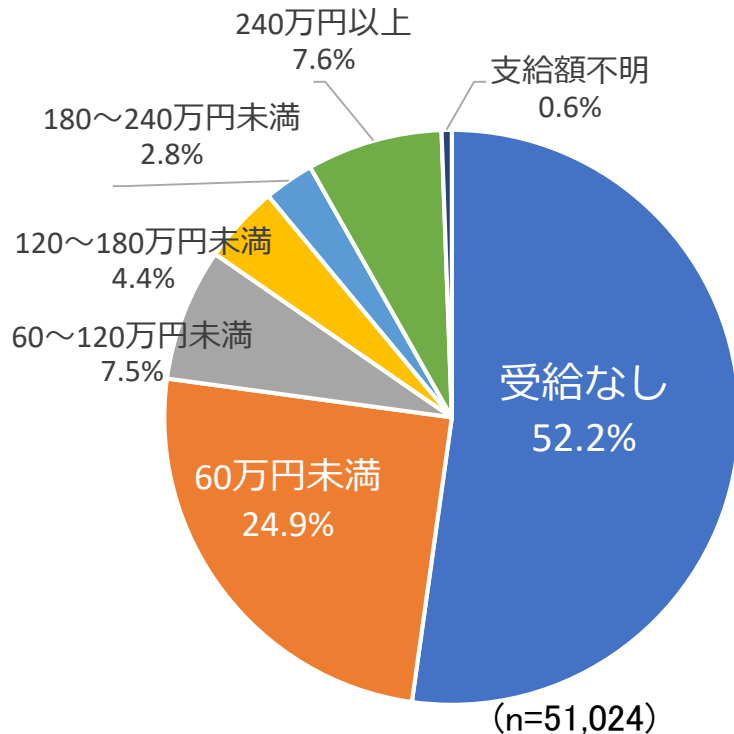


博士課程学生の経済的支援

一人あたりの年間支給額 (授業料減免措置を含む)

平成27年度



出典：平成28年度文部科学省先導的・大学改革推進委託事業
「博士課程学生の経済的支援状況に係る調査研究」

外部資金等の多様な財源 による処遇改善は必須

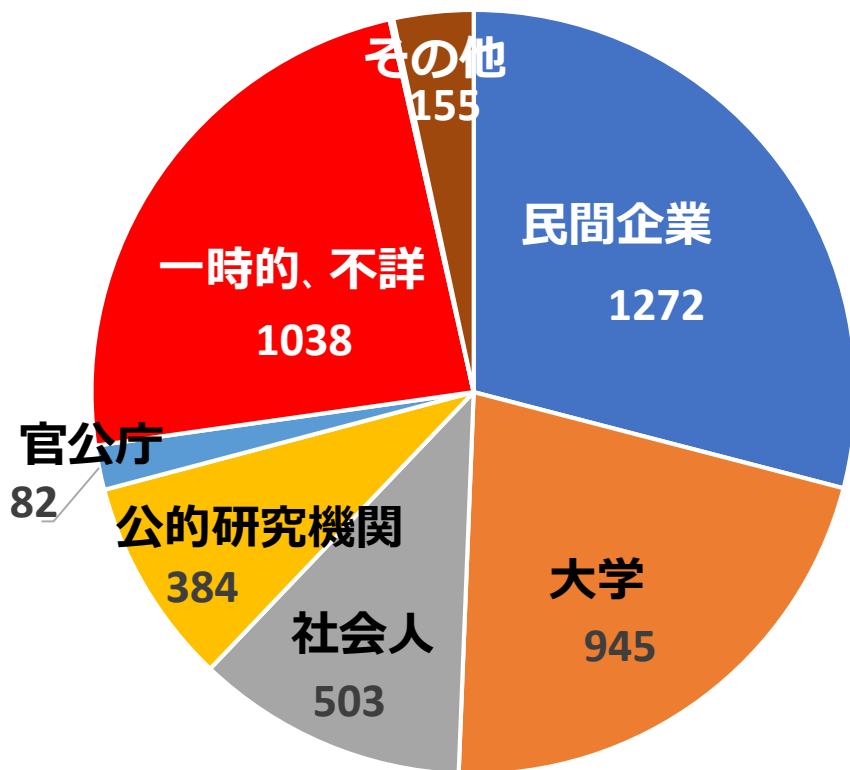
- ・競争的資金・民間資金を獲得しづらい分野
学術振興会研究員制度(DC)の充実
⇒ 学生が自ら獲得する
- ・競争的資金・民間資金を獲得できる分野
競争的資金、民間資金での直接雇用
促進 ⇒ 教員が自ら獲得する
- ・各大学が目指す戦略的分野
間接経費や新たな枠組みの交付金による
大学独自の雇用制度促進
⇒ 大学が獲得する

研究者のキャリアパス拡大

資料1

2020年7月2日
CSTI橋本議員資料

理・工博士取得者進路 2016年（4379名）



資料：文部科学省「大学院における「第3次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」を基に作成

学位取得者がほとんどすべてアカデミアにつくなどということはありません

産業界へのパスを太くすることしか本質的解決策はない

- ・産業界が進んで採用する博士を
- ・アカデミアに残れなかったから産業界へ、ではなく、産業界へ行きたくなるための環境づくり

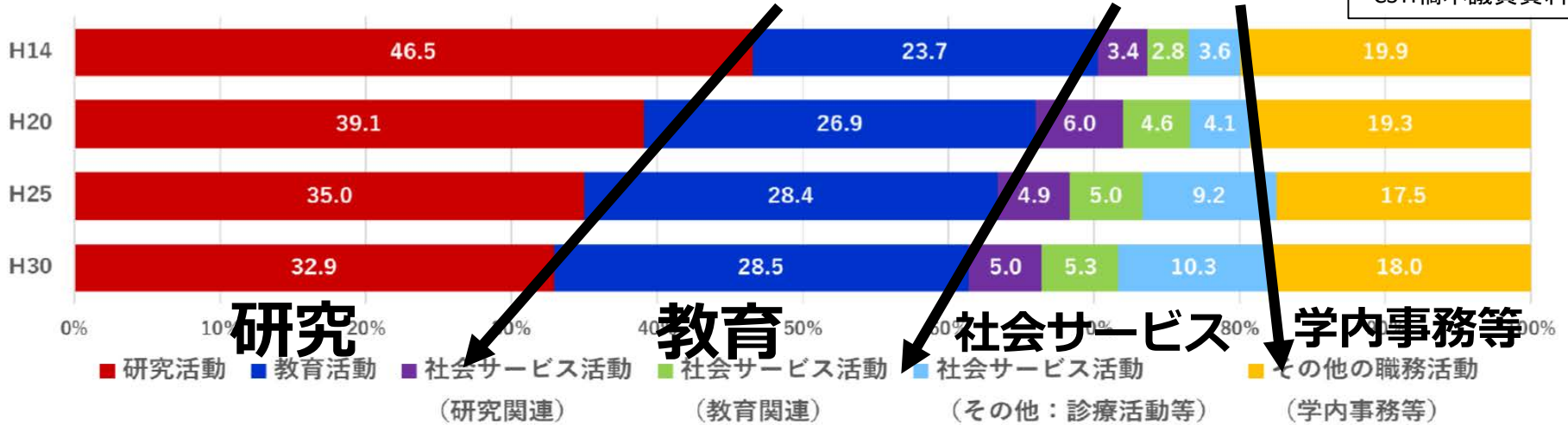


産業界とアカデミアの壁を限りなく低く

産学共同研究推進、産学採用マッチング制度、インターンシップ制度

研究時間の減少

資料1
2020年7月2日
CSTI橋本議員資料



研究時間確保の上での制約

